

AICHI
PREFECTURAL
MUSEUM
OF
ART

MEMBERSHIP

愛知県美術館友の会 会報 第48号

空中回廊

企画展：大浮世絵展 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演
会員のひろば：友の会講座

：名古屋市美術館鑑賞会

：コートールド美術館展記念講演会①

愛知県美術館友の会会員特典について

愛知県美術館コレクションから 太田三郎《婦人像》《カフェーの女》



太田三郎《婦人像》1915年頃（部分）

FIVE UKIYO-E FAVORITES

UTAMARO, SHARAKU, HOKUSAI, HIROSHIGE, AND KUNIYOSHI

大浮世絵展 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演

2020.4.3^木 - 5.31^日

浮 世絵の歴史の中で誰もが知る4人の巨匠、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重。ここに近年人気の高い歌川国芳を加えた5人に注目し、国内のほか欧米の美術館、博物館、個人コレクション等から傑作だけを集めました。保存状況によって作品の状態に差が出る浮世絵ですが、本展では、国際浮世絵学会の監修のもと、優品ばかりを集めています。浮世絵本来の鮮やかさを、ぜひその目で確かめてください。歌麿は美人画、写楽は役者絵、北斎と広重は風景画と花鳥画、国芳は勇壮な武者絵と機知に富んだ戯画など、5人それぞれの個性を代表する傑作の数々をご紹介します。

【喜多川歌麿】

美 人画の名手として知られる歌麿は、北川豊章の号で絵入版本や細判の役者絵を制作していましたが、1781年頃、「歌麿」と号を改め蔦屋重三郎と組むようになってから、一気に評判を得て活躍します。歌麿の作品の中でも、人物の上半身をアップで描く大首絵の美人画には、歌麿の確かな技術と女性を美しく描き出す繊細な感性が現れています。「婦女人相十品 ポペン吹く娘」は、女性の一瞬の表情を捉え、そこに宿る感情を描き出しています。ガラスの玩具で遊ぶ娘の振り返る表情には、うら若い娘の無邪気な素顔が描かれています。



喜多川歌麿
《婦女人相十品 ポペン吹く娘》
寛政4-5年(1792-3)頃、大判錦絵
メトロポリタン美術館蔵

【東洲斎写楽】

奇 抜な役者絵を描いた写楽は、わずか一年で名を挙げ、そして突然制作をやめてしまいました。背景に黒雲母摺をほどこした大首絵という豪華な形式と制作量の多さは、写楽が特別の扱いを受けていたことを示しています。「3代目大谷鬼次の江戸兵衛」は、3代目大谷鬼次の演じる悪役江戸兵衛が睨みをきかせる場面です。悪になりきる役者の姿を描いた写楽の役者絵は、まるで役者自身が悪人のように見えるほどの迫力があります。



東洲斎写楽
《3代目大谷鬼次の江戸兵衛》
寛政6年(1794)、大判錦絵
シカゴ美術館蔵

【葛飾北斎】

日本だけでなく世界でも知られる北斎は、はじめは勝川春章に入門して役者絵や美人画を描いていました。勝川派を離れてからはさまざまな画風を学び、挿絵や摺物の制作を通じた戯作者や狂歌師といった文化人との関わりは、北斎の画風形成に大きな役割を果たします。「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」は世界で最も有名な作品と言われ、その大胆でありながら精密に計算された大波と富士山の配置、リアルな波の描写は印象的です。



葛飾北斎 《富嶽三十六景 神奈川冲浪裏》
天保2-4年(1831-33)頃、横大判錦絵
ミネアポリス美術館蔵

【歌川広重】

広重は歌川豊広という浮世絵師のもとで温和な画風を身につけました。風景画では各地の風景を叙情的な画面にすることで、鑑賞者の心に響く作品をつくります。「東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪」は、本来であればあまり雪が降らないはずの蒲原を、しんと雪が降り積もる夜の景色へと見事に変貌させています。そこに描かれた旅人は、鑑賞者が自身を重ね合わせることを想定しているのか、どれも後ろ姿で印象的です。



歌川広重 《東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪》
天保5-7年(1834-36)、横大判錦絵
ミネアポリス美術館蔵

【歌川国芳】

国芳は斬新な発想に基づく奇抜な画風で幕末の浮世絵界に新風を吹き込みました。とりわけ近年評価が高まっている戯画は、現代人にも受け入れられる面白さがあります。国芳の武者絵は人物の細部への描き込みと目に鮮やかな色彩、そして力強いポーズで鑑賞者を惹きつけます。「宮本武蔵の鯨退治」は大判を三枚つなげた大画面いっぱいに鯨を描き、その背に小さな武蔵が乗っています。鑑賞者を驚かすこのような工夫は国芳の作品に共通する特徴です。



歌川国芳 《宮本武蔵の鯨退治》
弘化4年(1847)、大判錦絵三枚続

【自己紹介】 由良 濯 学芸員

大学を卒業後、愛知県美術館で働かせていただくことになりました由良濯と申します。下の名前は濯と書いて「あろう」と読みます。「星の王子さま」が好きだった祖母が、最初に翻訳をした仏文学者の内藤濯先生にちなんで名前をつけてくれました。専門は日本近世絵画で、桃山時代に狩野派を中心に制作された寺社仏閣・城の襖絵や屏風を研究しております。愛知は初めて住む土地ですが、郷土三英傑と同じ土地に住むと考えるとロマンがあって楽しいです。名古屋城本丸御殿の襖絵があるのも大きな魅力ですね。大浮世絵展は初めての担当ですが、私自身展覧会を担当して初めて浮世絵の魅力を知りました。皆さんにも浮世絵の素晴らしさを知っていただけたらうれしいです。



友の会講座

2019年11月17日

演題 岸田劉生 不思議さの魅力

講師 井口 智子 氏

(名古屋市美術館学芸課長)

2020年1月8日から3月1日まで、名古屋市美術館にて開催される「没後90年記念 岸田劉生展」。今回の友の会講座は日本の近代美術を代表する画家、岸田劉生の軌跡を追う展覧会がどのように展開されるのか、担当学芸員からお話をうかがうことができるとても有意義な機会となりました。

それにしても「岸田劉生 不思議さの魅力」とはどういうことなのか。井口さんは最初に展示作品《林檎三個》を取り上げて、『どのように感じるか? どう思うか?』『何を描きたかったのか?』ということを観客に問いかけている。」と述べていました。娘の麗子さんによると、劉生は一家三人の姿を林檎に託したとのこと。麗子さんは5歳のときから劉生の油彩画のモデルとなり、代表作である《麗子像》シリーズは劉生の美意識の変遷を映しだすように描かれていったといえるでしょう。

岸田劉生といえば写実的絵画が思い浮かびますが、意外にも初期には「後期印象派」の影響を受けていました。今回の展覧会では、ジャンルごとの分類ではなく年代別に劉生の軌跡を辿っていく構成になっている



そうです。17歳で黒田清輝に師事してから38歳で没するまでの成長の過程を、時系列的に鑑賞できるのはとても楽しみです。

井口さんは「劉生は身近のものを取り上げ、対象をじっくり見つめ、深く神秘的な美しさを描こうとしました。その作品は私たちの精神を刺激し続けています。」と述べていました。

後世の芸術家たちに強い影響を与えた絵画は、没して90年経った現在の私たちにどのような影響を与えてくれるのでしょうか。自分自身を見つめ直す切っ掛けにもなるのでしょうか。展覧会がとても楽しみになってきました。

コートールド美術館展 記念講演会 2020年1月18日

演題 印象派の衝撃

講師 中野 京子 氏 (作家・ドイツ文学者)

美術館主催の記念講演会では著名な方々のお話を伺うことができます。人気も高く、アンテナを張っていないとあっという間に申し込みが終了してしまいます。今回のコートールド美術館展の記念講演会①では『怖い絵』シリーズで有名な中野京子氏が講師でした。

歯切れのよい語り口で、展覧会に出品されている画家たちの生き生きとしたエピソードだけでなく、作品に関係するオペラや音楽家などの話も交えてお話をされました。お話のあと、展覧会をもう一度見たいという気持ちになりました。



友の会講座

2020年1月12日

演題 文化財アーカイブスの重要性を考える
—東日本大震災文化財レスキューに参加して—
講師 長久 智子 氏（徳川美術館学芸部マネージャー）

徳川美術館には貴重な文化財と記録類が数多く残されています。このことに関連して、東日本大震災に関わる体験をお話ししてくださいました。

2011年3月11日に東日本大震災の発生から、今年で9年が経ちます。長久さんはYouTubeの記録映像や博物館の被害状況の写真などで、改めて当時の深刻な被災状況や、生き残った現地の人々や学芸員の思いを振り返らせてくれました。



当時長久さんは、愛知県陶磁資料館（現愛知県陶磁美術館）の学芸員でした。震災当時、最大震度M6強を記録した茨城県陶芸美術館（笠間市）から巡回させる展覧会を4月から開催予定だったとのこと。当時、担



実物につけられていたタグのおかげで記録が残った例

当者としてこの震災とその被害とに向き合うことになったそうです。

震災発生から半年後、長久さんは文化財レスキューボランティアに参加され、一週間、岩手県陸前高田市で文化財救出作業に携わりました。大津波によって汚水に浸かった文化財や文書、データは大変な被害を被っていました。失われた文化財と記録の多さに驚き、改めて文化財アーカイブスの重要性を痛感したそうです。

文化財とそれらに付随する記録類を伝えていく学芸員の仕事の難しさを考えさせられる時間でした。

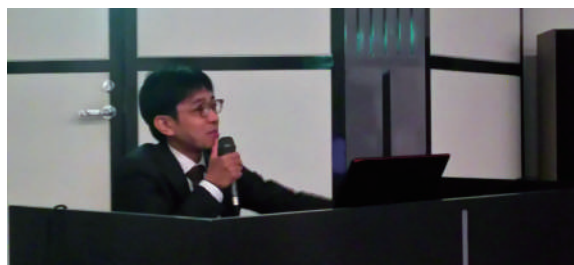
名古屋市美術館鑑賞会

2019年11月10日

友の会イベントの鑑賞会では、その展覧会を担当された学芸員があらかじめ「みどころ」などをお話ししてくださいます。11月10日に行われた名古屋市美術館における「カラヴァッジョ展」鑑賞会では、名古屋市美術館学芸係長の保崎裕徳さんが担当してくださいました。ローマのボルゲーゼ美術館にあるカラヴァッジョの部屋だけで2時間を費やしたことがあるという保崎さんが語る「カラヴァッジョ像」はとても分かりやすく、お話に没頭してしまいました。

カラヴァッジョはその圧倒的な写実描写と光と影の強烈なコントラストの表現により、17世紀のバロック絵画の形成に多大な影響を与えました。しかし天才芸術家であると同時にその性格は非常に激しく攻撃的で、剣を携えては街に繰り出し始終喧嘩を繰り返していたそうです。殺人の果てにローマから脱出した後ナポリやマルタ島へ逃げ込み、その後も事件を起

講師 保崎 裕徳 氏
(名古屋市美術館学芸係長)



こしては逃亡を繰り返し、ローマへの帰還を目指した旅の途中で病に倒れました。38才でした。カラヴァッジョはしばしば作品の中に自画像を描いていますが、今回の展覧会で展示されている《ゴリアテの首を持つダヴィデ》において、ダヴィデに若いころの自画像、ゴリアテに制作当時（殺人を犯した後の晩年）の自画像を描いたのではないかとされているそうです。

私は、ルーベンスやレンブラントなどに大きな影響を与えたこの作品群を目の当たりにして、無言で圧倒されるばかりでした。

一般会員特典 ～会員だから、できること～

「美術をもっと身近に楽しみたい」と誕生した友の会。みなさまの活動のお役に立てればと思い、改めて「一般会員特典～会員だから、できること～」をまとめました。参考にしていただければ幸いです。



A No. 0000
Name: _____ 月まで有効

1. 会員証の使用は、記入本人に限ります。
2. 美術館の企画展、所蔵作品展に入場される時は、受付にご提示ください。
3. 友の会の行事に参加される時には、必ずこの会員証をお持ちください。

1 ★ 2 ★ 3 ★ 4 ★ 5 □ 6 □ 7 □ 8 □ 9 □ 10 □

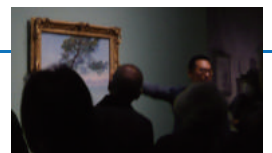
愛知県美術館友の会 〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
Tel.052-971-5511(代表) Fax.052-971-5617

◎会員証を提示すると、こんなにお得！

お得なこと	例えばこんな風に、使っていただけます！
所蔵作品展を何度でも鑑賞できる	企画展開催中は所蔵作品の名品をとことん鑑賞。スタンプの押印はありません。
企画展を年間10回まで鑑賞できる	スタンプの枠は10。家族やおともだちと2人で鑑賞するとスタンプは2個押印されます。
美術館ロビーの10階アートショップで割引価格にて商品を購入できる	愛知県美術館のグッズをお得に手に入れることができます。(割引対象外の商品あり)
愛知芸術文化センター内のレストラン、喫茶店にて割引サービスが受けられる	美術を愉しんで心を満たした後、お得に飲食を愉しむことができます。

◎会員だから、愉しめること！

愉しめること	それで、こんなことができました！
特別鑑賞会に参加	会員のためだけの、贅沢な鑑賞会！「夜の部」では、会員だけで作品を観ることができます。
友の会講座に参加	美術に関する広範で深いお話を聞き、「知る」楽しみを味わえます。
他館での鑑賞会に参加	近隣美術館が開催する展覧会を、担当学芸員のお話を伺ったうえで鑑賞することができます。
バスツアーに参加	個人ではなかなか足を運ぶことができない美術館にバスを使って巡る、名物イベントです。会員同士で、観たものの感想を忌憚なく交わすこともできます。



◎その他に、愉しめること！

★展覧会（企画展）の招待券、小型ポスター、ちらしが届きますので、お知り合いの方々に展覧会をご紹介いただけます。



太田作品に見る文学性

愛知県美術館にとって太田三郎はとても縁の深い作家です。なぜなら彼は愛知県文化会館の創立に関わり、当館の前身である愛知県文化会館美術館の初代美術科長となった人だからです。とはいえ、それも随分昔の話ですね。そこで、太田三郎の東京時代、《婦人像》が制作された画業初期を振り返ってみようと思います。

1884（明治17）年に愛知県西春日井郡西枇杷島町に生れ、父親の文人氣質を受け継いだ太田は、父と交流のあった日本画家の川崎千虎の家で職故実や古典文学の造詣を深めます。十代で上京して、鬼頭道周の仏画の下塗りを行い、後には寺崎広業に日本画を、さらに黒田清輝に洋画を学びます。堅実な描写と明るい色彩による当時流行の外光派の技術を習得した成果が《婦人像》に表れています。同時にこの《婦人像》や文展受賞作《カフェの女》、木版画《カフェーの女》からは哀愁を帯びた女性への共感も見て取れます。そのような哀感は太田自らのセンチメンタルな資質にもよるのでしょうか、白樺派や詩人たち



太田三郎《婦人像》1915年頃 油彩、画布 45.7 cm × 53.4 cm

を媒介にして文学と美術が接近した明治末～大正時代の空気が影響しているかもしれません。元来文学に親しみ、多くの著作を生涯にもした太田は、1911（明治44）年に『ひこばえ』『草花絵物語』『蛇の殻』という書籍を上梓します。街中のさりげない事物を速筆でとらえた『蛇の殻』と『ひこばえ』、草の花に関する口碑伝説などを集めるのが大好きで、版画や文筆も大好きだという太田が、この3つの「あそび」を集結させたという『草花絵物語』には、市井の事物への関心や文学的趣味が盛り込まれ、展覧会出品の油絵とは異なる風趣が味わえます。

そういう太田ですが、もともと出版文化に親しんでいました。日露戦争時の絵葉書大流行に乗じ、日本葉書会を起こして『ハガキ文学』を発行した大橋光吉に認められて、太田は同会に入社し、糊口をしのぎました。他の画学生と共に北沢楽天の『東京パック』にも風刺画を寄せています。1910年代にはペンネームの「君島柳三」と本名を使い分けて青少年向け雑誌『学生』『小学生』『少女画報』『少年世界』『女子文壇』等の表紙絵、挿絵を頻繁に描き、時に文章も寄せました。このような仕事は本人にとって苦しいものであったようですが、それらの経験がその後の《婦人像》をはじめとする太田の創作の技術的・思想的な礎になっていたことを念頭において作品を見ると、違って見えてくるように思います。

愛知県美術館主任学芸員 平瀬礼太



太田三郎
《カフェーの女》1914年 木版、紙
20.7 cm × 11.3 cm

太田三郎 《婦人像》



学芸員の横顔

平瀬礼太

-Hirase Rinta-



窓際はさむくて仕方ありません。そんな時は薄明りの下、甘いお菓子をほおぼる姿を想起します。マツ子売りの少女みたいですよ。

美術館から

昨年10月の台風19号は、全国各地に甚大な被害をもたらしましたが、美術館業界でも川崎市市民ミュージアムの収蔵庫への浸水が大きく報道されました。作品の浸水被害という我々はどうしても、記憶に新しい東日本大震災での美術館・博物館の被害の事を思い出してしまいます。この時は当館からも数名の学芸員が派遣されて、文化財レスキューに参加しましたが、彼等にとってはカビの生えた作品の処置などを通じて、作品を後世に残すことの意味とその責任を痛感する、またとない機会となりました。今回も同様に文化財レスキューが発足し、関東の学芸員を中心に膨大な数に上る作品の処置に当たっています。NHKの日曜美術館でご覧になった方もいらっしゃることでしょ。既に当館からも1名が派遣され、戻ってきてから現場の様子を伝えてくれました。

美術館が作品を守っていくということは、一朝一夕に出来ることではありません。また、広範囲に影響が出る大規模災害に対しては、近隣の美術館・博物館と連携して素早く情報共有に努めることが肝要です。そのため、当館が本部館を務める全国美術館会議東海ブロックでは、広域ブロック会議を先日初めて招集しました。静岡、岐阜、三重、愛知の4つの県立美術館が集まり、大規模災害が発生した際の連絡スキームや、既に各県で行われている防災の取り組みに関する情報交換を行いました。同じく当館が事務局を務めた(平成30年度と令和元年度)愛知県博物館協会では、数年前から災害発生時の連絡訓練を行っていますが、同様の取り組みが隣接する他県でも行われていることが分かりました。

昨年の台風を教訓として、これまでに続けていた取り組みの見直しと改善を行い、今後も日常業務の一環として継続的に災害対策に取り組むことは、貴重な美術作品を預かり後世に伝える私たちの、重要な任務の一つです。

愛知県美術館主任学芸員 石崎尚

編集後記

トリエンナーレの「表現の不自由展・その後」は会期末間際に再開にこぎ着けましたが、費用負担をめぐる議論は続いています。議論のある展示こそ積極的に鑑賞に訪れることで、微力ながら表現の自由を守っていきたいと思います。

- 編集 松下智子 稲垣真美代/井上真紀子/喜田泉/小林克敏/富永晃一/森健次
- 協力 愛知県美術館
- 発行 2020年3月

第48号 友の会活動紹介

2019年11月～2020年2月

★…中面でご紹介しています

11月	鑑賞会★ 名古屋美術館 カラヴァッジョ展の 解説する保坂裕徳氏		12月	定例活動のみ	
	特別鑑賞会 「地球・爆」展 多くの参加員に解説する 揮戸企画業務課長			特別鑑賞会 「コートールド美術館展」 会場で説明をする石崎主任学芸員	
	友の会講座★ (井口智子氏) 岸田劉生の画業を 語る井口智子氏		1月	友の会講座★ (長久智子氏) 文字記録の大切さを語る長久智子氏	
			2月	定例活動のみ	

定例活動 (2019年10月～2020年2月)

所蔵品管理	モニター	発送	受付 <small>（イベント）</small>	広報	ホームページ	理事会
18回	1回	2回	4回	5回	随時更新	3回

友の会事務局から

★4月からの電話対応について

事務局の勤務が4月から不定期となり、電話の対応ができないことがあります。お問い合わせ、ご連絡などは、郵便かFAX、Eメールにてお願いいたします。

★イベントへの申し込み

資料準備のため、事前申し込みにご協力ください。
Webページからのイベント申し込みも可能になっています。
ホームページの情報は随時更新しますので、ご確認ください。

友の会 これからの活動予定

3月

友の会講座
関根俊一氏
(奈良大学副学長)

4月

企画展特別鑑賞会
「大浮世絵展」
友の会講座
馬場駿吉氏

これからの展覧会のご案内

FIVE UKIYO-E FAVORITES
UTAMARO, SHARAKU, HOKUSAI, HIROSHIGE, AND KUIYOSHI
大浮世絵展 歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演
2020.4.3(木)～5.31(日)

愛知県美術館友の会

〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13-2
愛知県美術館内(愛知芸術文化センター10階)

fax.052-971-5617

tel.052-971-5511(代)
(火・木 11:00～15:00)



愛知県美術館友の会

検索

info@apmoa-tomo.com

愛知県美術館ホームページ

www-art.aac.pref.aichi.jp

twitter

@apmoafriends

友の会入会のご案内

友の会の詳しい活動内容を知りたい方、入会をご希望の方は事務局(右記)までお問い合わせください。入会のご案内パンフレットやホームページでも詳しく紹介しております。ぜひご覧ください。

★愛知県美術館 10階受付
★友の会事務局